

【第6回本宮保育園三者懇談会】

◆ 日時 平成24年11月2日（金）午後6時から

◆ 場所 本宮保育園

◆ 出席者 本宮保育園保護者3名

◆ 内容

保 ⇒ 保護者

市 ⇒ 盛岡市（保健福祉部 児童福祉課）

本 ⇒ 本宮保育園（わかば会）

児童福祉課長あいさつ、市及び、わかば会出席職員紹介

【お子さんの様子や保育園の様子について】

市 この項目については、資料は用意していないので、口頭により、前回の三者懇談会で話があった内容について、その後を説明する。

壊れて修理が必要な門扉の鍵と玄関の鍵については、法人ですぐに修理を実施している。

本の貸し出しの曜日について、移管前の曜日にしてほしいと要望があり、この件についてもすぐに前のように戻している。

給食の配膳方法については、保護者にお知らせをしながら実施していると聞いている。

夕方保護者が向かえに来たときに、外遊びが長引くので、保育士に声をかけてもらうようお願いがあった件は、個別に対応しており、また、最近は早く園舎に入るようになったことを聞いている。

移管後の訪問ということで、児童福祉課職員と保育相談員が週に1回お子さんの様子や保育園の様子を見に園を訪問している。主な行事にも訪問しており、運動会なども見に来ている。昨年の本宮保育園の職員であった公立保育園の保育士も見に来ている。行事に限らず、普段の保育も含めて細かい部分で変わったところはあるようだが、昨年までのものを引継ぐようにしているし、改善が必要なところは保護者と話し合いながら進めているようだとし市としては思っている。今後も引続き訪問指導を実施する。

保 前回の懇談会で保護者から出ていたことについて、この数か月のところで改善をされていたのではないかとすることは保護者も感じている。夕方についても、中に入る時間を早めにしてもらっている。鍵の修繕もしてもらっている。

【増改築工事（予定）の概算について】

市 本宮保育園の増改築工事について、わかば会で計画している内容は次のとおりである。

民営化により定員を20名増やすため、0歳児保育室の増築と1歳児保育室の増築を計

画している。また、乳児室等の増築に伴い2歳児室の増築も計画している。その他、器具室と相談室について、スペースを増やすため、増床を計画している。

工事を実施するに当たり今後検討が必要な事項として、工事期間中の安全の確保、工事期間中の保育室、午睡中の工事規制、保護者駐車場の安全の確保、増改築後の畑・花壇及び増築後の定員などが上げられる。

詳細について、わかば会から説明をお願いする。

わ 定数増に伴う増築工事がメインになっている。人数的には、各クラスの定員をできるだけフラットにしたいので、0歳児を20名、1歳児から5歳児を各24名ずつ予定している。合計140名になる。定数が0歳児は12名から20名になるということ。1歳児は12名から24名の倍になる。2歳児は18名の定員が24名になる。3歳児は20名の定員が24名になる。4歳児、5歳児は29名になっているが、24名にする。増築工事は0歳児と1歳児の部屋について実施を考えている。2歳児の部屋についても増築を計画している。3歳児の部屋については、もう少し検討しなければならない。2歳児は、動きが大きいために今も面積的に窮屈なところがあり、増築するときには一時相談室を使えないか検討している。その他、定員増の増築に関わるものではないが、大きなところではホール床の角がささくれだってきている。保育士からも硬いようだとされているので、上にもう1枚貼り付けして、リズム運動などで、子どもたちのひざにあまりショックが出ないように直したいと思っているし、ホールのステージを撤去したい。ステージは年に数回しか使わないために、スペースがもったいない。全体を使ってリズム運動などをやりたい。最初は、ホール全体が長方形なので、子どもたちが走り回ったり、円を描いて走り回ったりするには、もう少し正方形に近いほうが良いと考えたので、園舎の後ろの方に出そうとして、ステージの裏側に軒下があるが、そこまでホールを拡張しようと思っていた。しかしステージの壁がコンクリートで出来ており、構造上撤去できない支えになっていて、その部分を除いて拡張してもホールの面積拡張にはならないということで、諦めてステージの撤去と器具室のスペースを増やすことにした。今回の工事による大きな変更は、1、2、3歳児の保育室の増築、器具室の増築、ホールの床の張替え、休憩室と相談室の間の壁を取って、全体を少し広くしたい。その他にも細かいもので、ウッドデッキを全面に出したい。

畑については、ウッドデッキを作るとかなり狭くなるので、これから検討するが、4歳児の部屋の前に出したらいいのではないかと考えている。

工事中に子どもたちの保育をどうするのかということが一番の課題だが、方法は2つ考えられる。これから設計を具体的に組んで、日数を計算するが、なんとか3か月くらいで完成したいと考えている。そのためにはホールを一部保育室代わりにして、4歳児、5歳児については、ホールを使って保育をしながら、0歳児、1歳児、2歳児を4歳児、5歳児の方に移れば、工事の音とかの騒音が緩和されるのかなと思っている。

もう一つは、園庭にプレハブの仮園舎を建てる方法がある。4、5歳児をプレハブの

方に移して、0歳児、1歳児、2歳児を4歳児、5歳児の部屋に移るといような形を考えている。

わかば保育園が5年ほど前に、全面増改築をした際には、園庭にプレハブの仮園舎を作って半分ずつ子どもたちを移動して、園舎も半分ずつ改築した。6か月くらいの工期であった。工期が短ければ、場合によってはホールを一部活用してやる方法の方が、一番確実であるし、子どもにとってもあまり変化のない形でやれると思っている。もちろん保護者の駐車場について工事期間は、工事車両が出入りするので、一部フェンスを撤去するような形で、工所用機材を搬入する部分を設ける必要があると思っている。駐車場の方に工事車両がどうしても入らなければならないのか、あるいは入らない形で、隣接の道路から資材を搬入できる方法はないか検討しなければならない。

工事に関連して、園庭に風が吹くと、砂ぼこりが砂あらしみたいに園舎に入ってきて、子どもが食事をしているときに砂が入ったということがあったと聞いているが、砂をもう少し重いものに変えなければならないと思っている。園庭整備について、出来るだけ大きい木を植えたい。子どもたちが木登りできるような木を園庭の周りに植えたいと思っている。夏場の木陰にもなるし、増改築が終わったらすぐそちらにも取り掛かりたい。早めに設計を進めたい。基本的な案は職員で作って、設計士に図面を書いてもらったが、市の補助金の認可が下りれば、5月か6月くらいに着工をして3か月くらいで終わらせたい。冬工事に掛からないようにしたいということと、できるだけ早めにやって、0歳児の待機児童があるようなので、その人たちをある程度スペースが大きくなれば、年度途中からでも増やして受け入れできるのかなと思っている。今は、現在の人数で一杯なので、できるだけ早く地域の方のためにも取り掛かりたいと思っている。

保 早い時期に工事をしたいということだが、市では対応できるのか。

市 今回は国の補助により実施することになるので、申請をもらい県とやり取りしながら認可をしていくので、5月着工は厳しいかもしれない。今年度は、来年度の予算確保からスタートしていくことになるが、なるべく早く工事着工できるような態勢を整えていきたい。

保 早くできないのであれば、できないということ本宮保育園に伝えてスケジュールを示しながら進めないといけないのではないか。

市 5月か6月から実施を考えていることは、本日聞いたので、今後話を詰めながら、今年度から市と県との協議を整えてスケジュールを組んでいく。

わ 国との協議も必要になるのか。

市 来年度の補助金メニューがまだ決まっていないが、今と同じ制度になると考えると、県との協議になり時間の短縮になるが、国との協議が必要になると3か月くらいかかると思うが、現在は来年度も今の制度が残ると想定して計画している。

わ 細かいところはこれからだが、外遊びで濡れたりした場合、外から足を洗ったり、シャワーをするような施設を2歳児室と3歳児室の間に設置をしたい。また、定数が増え

るので玄関の下駄箱が手狭なので、職員は玄関から出入りしないで、1歳児室と給食室の間を改築して職員の出入り口にして、そこに職員の下駄箱を置くようにしたい。

わ 定員が増えることによって、給食室も今のままで大丈夫なのか、ホールも子どもたち20名増えることによって、保護者2名だけでなく、行事のときには来園者も増えるということで、今でもなにかあるときにはステージの前まで来ている状況なので、20名増えるということは部屋だけではなく、それに付随して検討する部分も出てきている。

保 園長から、日常の保育の様子について少しお話をしたい。

わ この夏の活動としては、畑で野菜を採ったり、プールで遊んだりした。夏祭りも行い、地域の保育園ということもあり、行事などについて近所5、6軒に本宮保育園からのお知らせを配布している。運動会も暑い中、練習も大変だったが、予定時間に終わるように子どもたちと職員もがんばったと思っている。秋は収穫の秋を満喫しており、様子については写真などでお知らせしている。焼きいも会を行ったときに、年長児が小さい子どもたちにどうやってさつまいもを作ったか見せたりしている。さつまいもを植えたときから収穫したときまで観察して、その後つるで遊んだりした。一つのことを保育につなげたりしている。10月1日は、赤い羽根のオープニングで運動会にやったソーランを踊ってきた。また、本宮の芸能発表会でソーランを踊って欲しいと言われている。焼きいも会、焼き物パーティー、さんま焼き会などちょっと行事が多かったかなと思ったりもしたが、栄養士が鮭をさばいて見せて、焼いたりして食べた。取り組める範囲で、生の体験をいっぱいさせたいと思っている。10月31日はハロウィンだったが、かぼちゃを持ってきたり、給食で飴を作ったり、園長が魔女にもなった。

また、会計とも話したが、絵本を春に買ったが、ホールに置ききれなくて各部屋に入れているので、これから発表会もあるので読み聞かせの中でイメージ作りをしながら、発表会の劇作りに取り組んでいきたい。その前にお店屋さんごっこもあり、これから子どもたちは、流行ものの病気あるかもしれないが元気に過ごすようにしたい。

給食の食器については、全部揃えてあるが、今はご飯茶碗（磁器）だけ揃えて使っている。年長は大皿、小皿を使うが、一気に増えると使い慣れないということがあるので、徐々に増やしていきたいと思っている。

10月から休日保育を始めて1か月経ったが、利用者がいない日も2回くらいあった。本宮保育園の子が3名利用したこともあったが、他の園の子どもが1名から5名利用している状況である。